

高齢者会員が順調に増加するクラブの魅力 ～「本物の太極拳を見に行こう！」を夢に国際交流～ （あなぶきスポーツクラブ・徳島県美馬市）

1. 「スポーツは生活のビタミン剤」という信念

「あなぶきスポーツクラブ」（以下、クラブ）は、成熟社会にはスポーツが不可欠で人々の生活のビタミン剤であるとの強い信念のもと、「健康が一番！ スポーツで明るい生活を！ 仲間とともに！」を合い言葉に、スポーツに縁のない人は一人もいないという考え方で活動に励んでいます。プログラムは、小学生のスポーツも含め多岐に渡り、身近なところで好きなスポーツに親しみながら交流を図ることが大きな魅力です。

2. 「自ら学ぶ」が活動の基本的な考え方

活動の基本的な考え方は、「自ら学ぶ」です。会員は学ばせてもらっているという気持ち、スタッフや指導者もスポーツサービスを提供する立場での喜びを実感しながら取り組んでいます。こうした明るい雰囲気の中でお互いに満足感が得られ、会員数は年々増加の一途にあります。会長やクラブに対する信頼も厚く、このことが継続会員の増大や口コミによる新規会員の登録に結びついています。

会員の年齢構成は、高齢者が全体の約50%を占めている状況です。太極拳が盛況であり、高齢者の仲間づくりが順調に推移してきたことが理由として考えられます。



3. 太極拳の本場中国遠征へ

太極拳愛好者にとって、「本物の太極拳を見に行こう！」が当初からの夢でありました。太極拳を通じた仲間づくりが会員の意欲を喚起し、平成20年10月12～16日までの5日間、中国雲南省大理市での太極拳交流が実現しました。参加人数は、18名でした。

大理市では、太極拳はもとより阿波踊りも披露するなど、極めて友好的に交流が図られ喜びを分かち合うことができました。大理市での熱烈な歓迎を受けた満足感一杯の体験が忘れられず、来春には北京遠征を予定しており、今後3年に一度は海外での太極拳交流を続けていきたいと夢は尽きないようです。

美馬市と大理市は、友好関係が芽生えつつありましたが、既に日本中国友好協会が設立され、本年度中には姉妹都市締結の運びとなっています。クラブは、その先発隊としての役割を果たしました。スポーツに国境はなく、クラブでの仲間づくりが広く海外にまで発展を見たことには大変意義深いものがあり、クラブの大きな魅力となり特色となっています。



北條種一（徳島県クラブ育成アドバイザー）

【あなぶきスポーツクラブ プロフィール】

1. 設立 設立年：平成16年10月31日
経緯：約2年間の準備期間を経て、3部門（ジョギング、ウォーキング、ニュースポーツ）から活動を開始、住民参加型のクラブ運営を目指す
2. 地域 人口：美馬市：33,113人（平成22年5月1日現在）
旧穴吹町：6,764人（平成22年5月1日現在）
特徴：美馬市は、平成17年3月に3町1村の合併により誕生した豊かな自然と数多くの文化財が残る歴史情緒あふれるまち。旧穴吹町は、徳島県の最高峰「剣山」を源流とする四国一の清流「穴吹川」が四国三郎「吉野川」へと流れ込む清らかな水と豊かな緑に囲まれた美しいまち
3. クラブ 会員数：約350名 予算規模：1,379,000円（平成22年度）
4. 連絡先 〒777-0005 徳島県美馬市穴吹町字藪の下5 穴吹スポーツセンター内
TEL：0883-53-8888 FAX：0883-53-8888